

徳山工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	コンピュータ演習	
科目基礎情報							
科目番号		0004		科目区分	専門 / 必修		
授業形態		演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		情報電子工学科		対象学年	1		
開設期		前期		週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員		室谷 英彰,増井 詠一郎					
到達目標							
情報リテラシーを学ぶことにより、コンピュータで情報を取り扱う技術を身につける。また、micro:bitを用いたコンピュータによるハードウェア制御を通してコンピュータ・リテラシーを身につける。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
文章作成および編集		ワープロソフトを使って様々な文章を作成できる。		ワープロソフトを使って基本的な文章を作成できる。		ワープロソフトを使って基本的な文章を作成できない。	
データ処理		表計算ソフトを使用して様々なデータの解析、可視化ができる。		表計算ソフトを使用して基本的なデータの解析、可視化ができる。		表計算ソフトを使用して基本的なデータの解析、可視化ができない。	
プレゼンテーションソフト		プレゼンテーションソフトを使用して効果的なプレゼンテーションができる。		プレゼンテーションソフトを使用してプレゼンテーションができる。		プレゼンテーションソフトを使用してプレゼンテーションができない。	
ハードウェア制御の基礎		micro:bitを用いたハードウェアの制御を理解し、思い通りにハードウェアを制御できる。		micro:bitを用いたハードウェアの制御を理解し、ハードウェアを制御できる。		micro:bitを用いたハードウェアの制御を理解できない。	
学科の到達目標項目との関係							
到達目標 B 1							
教育方法等							
概要		コンピュータ・リテラシーや、情報リテラシーについて学ぶ。文章作成および編集、表計算ソフトウェアによるデータ処理、プレゼンテーションソフトウェアの操作方法について学ぶ。また、micro:bitを用いてコンピュータによるハードウェア制御について知識を深める。					
授業の進め方・方法		前半は、教室での講義と、情報処理センターでの演習を行う。授業前半で講義や解説を行い、授業後半に情報処理センターに移動して演習を行う。micro:bitを用いたハードウェア制御では、複数回の授業時間を用いる。演習結果の提出や、課題の完成度により理解度を確認する。					
注意点							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	メールソフトウェア、グループチャットソフトウェア	メールソフトウェアとグループチャットソフトウェアの使用法を理解し、実際に使用することができる			
		2週	文章作成および編集（１）	ワープロソフトの使用法を理解し、文章を作成することができる			
		3週	文章作成および編集（２）	ワープロソフトの使用法を理解し、文章を作成することができる			
		4週	データ処理（１）	オープンデータを取得し、表計算ソフトで分析することができる			
		5週	データ処理（２）	表計算ソフトによるオープンデータの分析を通して、データによる問題解決の大枠を理解し、説明することができる			
		6週	プレゼンテーションソフトウェア（１）	プレゼンテーションソフトの使用法を理解し、実際に使用することができる			
		7週	プレゼンテーションソフトウェア（２）	プレゼンテーションソフトの使用法を理解し、実際に使用することができる			
		8週	プレゼンテーションソフトウェア（３）	プレゼンテーションソフトの使用法を理解し、実際に使用することができる			
	2ndQ	9週	ハードウェア制御の基礎（１）	コンピュータによるハードウェアの制御方法を理解する			
		10週	ハードウェア制御の基礎（２）	コンピュータによるハードウェアの制御方法を理解する			
		11週	ハードウェア制御の基礎（３）	コンピュータによるハードウェアの制御方法を理解する			
		12週	ハードウェア制御の基礎（４）	コンピュータによるハードウェアの制御方法を理解する			
		13週	ハードウェア制御の基礎（５）	コンピュータによるハードウェアの制御方法を理解する			
		14週	ハードウェア制御の基礎（６）	コンピュータによるハードウェアの制御方法を理解する			
		15週	ハードウェア制御の基礎（７）	コンピュータによるハードウェアの制御方法を理解する			
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	2	
				コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を活用できる。	2	
				情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。	2	
専門的能力	分野別の専門工学	情報系分野	その他の学習内容	少なくとも一つの具体的なコンピュータシステムについて、起動・終了やファイル操作など、基本的操作が行える。	3	
				少なくとも一つの具体的なオフィススイート等を使って、文書作成や図表作成ができ、報告書やプレゼンテーション資料を作成できる。	3	
				少なくとも一つのメールツールとWebブラウザを使って、メールの送受信とWebブラウジングを行うことができる。	3	
評価割合						
			課題	合計		
総合評価割合			100	100		
基礎的能力			70	70		
専門的能力			30	30		
分野横断的能力			0	0		